

(7106..50) — (7106..103)

ある。〔國朝著獻類徵・四百七十九〕。

〔宗魏〕⁵⁰ 宋・韓億(12-43159..24)の字。〔宗丘〕⁵¹ 春秋、楚の地名。今の湖北省秭歸縣。〔左氏・昭・十四〕楚子使然丹簡上國之兵於宗丘且撫其民。〔宗吉〕⁵² 明・瞿佑(8-23747..2)の字。〔宗仰〕⁵³ 睽び仰ぐ。〔晉書・范宣傳〕常以講誦爲業。譙國戴逵等皆聞風宗仰。〔北史・儒林上・徐道明傳〕講學於外二十餘年。海內莫不宗仰。〔唐書・蘇文懿傳〕遠近宗仰。〔宗舉〕⁵⁴ 宋・邵整(11-39343..40)の字。〔宗極〕⁵⁵ ①至高最上のもの。又、大本。〔北史・許善心傳〕參二才而育德。肖二統而降靈。有二黎人焉。爲之君長。有二貴賤矣。爲之宗極。〔沈約・神不滅論〕其原本盡其宗極。〔宗元〕⁵⁶ 元・葛洪辰(9-31420..117)の字。〔宗王〕⁵⁷ 宋・字號。①明・白圭(8-22678..333)の字。②清・羅曰琮(9-28397..302)の字。〔宗項〕⁵⁸ 清・徐基(4-10110..66)の字。〔宗欽〕⁵⁹ 後魏、金城の人。字は景若。好學の人。官は著作郎。爵は臥樹男。〔魏書・五十〕・〔北史・二十四〕。〔宗觀〕⁶⁰ 清・陳若霖(11-41698..961)の字。〔宗化〕⁶¹ 明・秦民悅(8-24995..268)の字。〔宗華〕⁶² 清・呂耀會(2-3386..165)の字。〔宗晦〕⁶³ 明・司馬暉(2-3257..282)の字。〔宗會〕⁶⁴ tsung huei 親族會議。〔宗胎〕⁶⁵ 莊子に見える二國の名。〔莊子・齊物論〕堯問於舜曰。我欲伐宗胎胥敖。南面而不釋然。其故何也。〔釋文・司馬云〕宗胎胥敖二國名也。崔云。宗一也。胎二也。胥敖三也。〔宗官〕⁶⁶ 古の官名。宗伯をいふ。禮義・祭祀・音樂等を掌る。〔周禮・春官・序官・宗伯・鄭注〕

唐虞歷三代。以宗官典國之禮與其祭祀。漢之太常。是也。〔國語・周語下〕妨正匱財・聲不無平。非宗官之所司也。〔注〕宗官・宗伯・樂

官屬焉。

〔宗教〕⁶⁷ 人生に超越した崇高偉大なる絶

神。〔後漢書・張衡傳〕明・王忠(7-20823..599)の字。

〔宗制〕⁶⁸ ①後周の恭帝。鄭崇訓(11-39474)

の字。②宋・曹彬(5-14297..23)の字。〔明・

讀太初(10-35978..76)の字。

〔宗元〕⁶⁹ ①はじめ。根本。〔易略例〕統之有

宗・會之有。元。②字號。〔宋・會倉(6-14299..

37)〕の字。〔明・曹凱(5-14297..23)の字。〔明・

讀太初(10-35978..76)の字。〕

〔宗厚〕⁷⁰ 明・張淳(合肥の人)(4-9

812..408)の字。〔明・劉純(2-2224..370)の

字。〕

〔宗孔〕⁷¹ 明・李仕魯(6-14459..1305)の字。〔宗孔〕⁷² 明・張淳(合肥の人)(4-9

812..408)の字。〔明・劉純(2-2224..370)の

字。〕

〔宗國〕⁷³ 宗主として仰ぐ國。本國或は兄分の國。例へば魯と滕とは共に周の文王の廟を奉

する兄弟國であるが、魯は周公を、滕は周公の

弟、叔鮑を始祖とするから、滕からは魯を宗國と呼ぶ。〔左氏・哀・八〕今子以小惡而欲覆宗國。〔孟子・滕文公上〕吾宗國、魯先君莫之之行。

〔注〕滕魯同姓、俱出文王。魯周公之後、滕叔

・368)の名。①後蜀・蒲思訓(9-31611..174)の名。

〔宗兄〕⁷⁴ ①庶子が、宗子の他國に在るものをさしていふ。〔禮・曾子問〕若宗子有罪居于子他國。庶子爲大夫。云々。其辭於賓曰。宗兄。宗弟。宗子在其他國。使某辭。〔疏〕宗兄・宗弟。宗子在他國。不得親祭。②一番上の兄。長兄。〔王維・留別山中溫古上人兄并示舍弟縉詩〕舍弟官崇高。宗兄此削髮。③同族の遠兄弟。同宗の兄。〔韓愈・考功員外盧君墓銘〕愈之宗兄故起居舍人君。〔白居易・畫鵝贊序〕壽安令曰吳。予宗兄也。〔宗形〕⁷⁵ 鈐姓氏。〔新撰姓氏錄考證・十一〕。〔宗系〕⁷⁶ 本家。根本。〔顏氏家訓・勉學〕不知書音是其枝葉。小學乃其宗系。〔宗畦〕⁷⁷ 明・陳述(11-41698..342)の字。〔宗卿〕⁷⁸ ①一門の家老。重臣。〔左氏・襄・二十九〕君子爲魯宗卿。②太常寺の官をいふ。〔陸倕・爲王光祿轉太常・讓表〕宗卿清重。歷選所難。③禮部尚書をいふ。〔稱謂錄・禮部・宗卿〕蘇軾・謝公禮部尚書表云。遂領宗卿之任。〔同〕宗人府の官をいふ。〔杜甫・別李義詩〕丈人猶宗卿。〔注〕洙田・宗正卿也。④宋・石範(8-24024..668)の字。〔宗傑〕⁷⁹ 宗族中のすぐれたものをいふ。宗英。〔魏書・景穆十二王傳論〕文宣貞固俊遠。鬱爲宗傑。〔宗擎〕⁸⁰ 婦子と庶子。〔晏子・諫・上〕長少行其道。宗孽。得其倫。云々。長少無等。宗孽無別。是設威樹。蓋之本也。〔宗夬〕⁸¹ 梁の人。景の子。字は明揚。官は太子右衛率・五兵尚書。〔梁書・十九〕・〔南史・三十〕七〕。〔宗傑〕⁸² 宗族中のすぐれたものをいふ。宗英。〔魏書・景穆十二王傳論〕文宣貞固俊遠。鬱爲宗傑。〔宗公〕⁸³ 先祖。祖公。廟主。一説に大臣をいふ。〔詩・大雅・思齊〕惠于宗公。神罔時怨。〔傳〕宗公。宗神也。〔箋〕宗公。大臣也。〔疏〕宗公是宗廟先公。故傳云。宗神。云云。於時宗廟有太王季。若論宗廟。當以王統之。不當言公。且經傳未有以宗廟之神爲宗公者也。〔金史・元好問傳〕兵後故老皆盡。好問蔚爲一代宗工。〔宗古〕⁸⁴ 宋・孫奭(3-6987..193)の字。〔宗五〕⁸⁵ 清・陳長鑑(11-41698..1131)の字。〔宗後〕⁸⁶ 宗子をいふ。〔禮・曲禮下〕若兄弟宗族猶存。則反告於宗後。〔注〕宗後。宗子也。〔宗工〕⁸⁷ ①尊官をいふ。〔書・酒誥〕惟亞。惟服。宗工。〔傳〕次大夫。服事尊官。②宗人の官に所難。③禮部尚書をいふ。〔稱謂錄・工部・宗工〕路史。垂テルが。九十五箇條の意見書を提出して。法王の免罪符販賣を攻撃したことが導火線となる。カトリック教的傳統から脱却して。聖書主義。福音主義を主張したもの。〔宗堯〕⁸⁸ ①金・睿宗(8-23536..25)の字。〔宗堯〕の廟號。②字號。〔明・夏良心(3-520..367)の字。〕〔宗夬〕⁸⁹ 梁の人。景の子。字は明揚。官は太子右衛率・五兵尚書。〔梁書・十九〕・〔南史・三十〕七〕。〔宗公〕⁹⁰ ①尊官をいふ。〔書・酒誥〕惟宋人。〔傳〕服。宗工。〔傳〕次大夫。服事尊官。②宗人の官に同姓の職をいふ。〔稱謂錄・工部・宗工〕路史。垂

同姓敢酒于酒。〔今古文注疏〕宗工。謂宋人。同姓の職をいふ。〔書・酒誥〕宗工。越百姓里居。罔敢酒于酒。〔今古文注疏〕宗工。謂宋人。同姓の職をいふ。〔稱謂錄・工部・宗工〕路史。垂

〔宗孔〕⁹¹ 明・黃綰(12-47926..976)の字。〔宗賢〕⁹² 明・黃綰(12-47926..976)の字。〔宗顯〕⁹³ ①明・鄧の人。字は必彰。正統の舉人。官は宜興・大興縣の知事。性極めて潔白な

ので、人呼んで宗青天といふ。〔鄞縣志〕。②

宋の僧。號は正覺。五祖に從ひ學ぶ。〔新續高僧傳・四十三・五十九〕。

〔宗元〕⁹⁴ ①はじめ。根本。〔易略例〕統之有

宗・會之有。元。②字號。〔宋・會倉(6-14299..

37)〕の字。〔明・曹凱(5-14297..23)の字。〕

〔宗會〕⁹⁵ 附・元綱論・內丹九章經各一卷。唐・吳筠撰。〔四庫提要・集・別集

心・幸福を得て以て人生的缺陷を補はんとする機能。古來、その教義・行事等の相違によつて種々の宗教が有る。今日に於ては、佛教・キリスト教・マハーヴィット教が世界の三大宗教として最も勢力を有する。

〔宗教家〕⁹⁶ 宗教を信仰する人。又、宗教を宣傳する人。〔宗教史〕⁹⁷ 宗教の歴史。〔宗教意識〕⁹⁸ 宗教信仰並びに宗教行為に伴ふ心理状態の總稱。〔宗教改革〕⁹⁹ 十六世紀、北歐に起つた宗教運動。一五一七年、ドイツ人マルテン・ルーテルが、九十五箇條の意見書を提出して、法王の免罪符販賣を攻撃したことが導火線となる。〔宗教主義〕¹⁰⁰ 主張したもの。〔宗教主義〕¹⁰¹ 聖徒をいふ。〔書・酒誥〕惟亞。惟惟亞。惟私謫。〔宗教〕¹⁰² ①字號。〔明・甯江(7-21717..7)〕の字。〔宗教〕¹⁰³ 類。〔宗教先生〕¹⁰⁴ 唐・吳筠(2-3365..13)の字。〔宗教〕¹⁰⁵ 唐・竇易直(8-25695..58)の字。〔宗教〕¹⁰⁶ 明・袁宗(10-34152..99)の字。〔宗教〕¹⁰⁷ 宋・宗原(非十一子)宗原應。變曲得其宜。〔注〕宗原、根本也。〔宗教〕¹⁰⁸ 宋・季淵(3-6965..20)の字。〔明・方淵〕の字。〔元・季淵(3-6965..20)〕の字。〔明・方淵(5-13620..20)〕の字。〔宗教〕¹⁰⁹ 宋・孫奭(3-6987..193)の字。〔宗教〕¹¹⁰ 宋・陳長鑑(11-41698..1131)の字。〔宗教〕¹¹¹ 宗子をいふ。〔禮・曲禮下〕若兄弟宗族猶存。則反告於宗後。〔注〕宗後。宗子也。〔宗教〕¹¹² ①尊官をいふ。〔書・酒誥〕惟亞。惟〔宗教〕¹¹³ ①次大夫。服事尊官。〔傳〕宗工。宗工。〔傳〕次大夫。服事尊官。〔注〕宗工。司空之職。〔同〕宗工。司空之職をいふ。〔書・酒誥〕宗工。越百姓里居。罔敢酒于酒。〔今古文注疏〕宗工。謂宋人。同姓の職をいふ。〔稱謂錄・工部・宗工〕路史。垂〔宗教〕¹¹⁴ ①王統之。不當言公。且經傳未有以宗廟之神爲宗公者也。〔金史・元好問傳〕兵後故老皆盡。好問蔚爲一代宗工。〔宗教〕¹¹⁵ 先公。故傳云。宗神。云云。於時宗廟有太王季。若論宗廟。當以王統之。不當言〔宗教〕¹¹⁶ 公。且經傳未有以宗廟之神爲宗公者也。〔金史・元好問傳〕兵後故老皆盡。好問蔚爲一代宗工。〔宗教〕¹¹⁷ ①製陶法を傳へた人。もと朝鮮の人。又、飴也。阿米夜といふ。永正年間に歸化し、佐々木氏とし、京都長者町に居り、製陶に從ひ學ぶ。〔宗教〕¹¹⁸ 人生に超越した崇高偉大なる絶

神。〔茶道家・後・宗啟と改む。南坊派の祖。利休に學ぶ。また和泉南宗寺中に集雲院を開き、世に慶首座と稱す。〔遠流茶道家・小堀正之の號。〕

〔宗教〕¹¹⁹ 人生に超越した崇高偉大なる絶

神。〔茶道家・後・宗啟と改む。南坊派の祖。利休に學ぶ。また和泉南宗寺中に集雲院を開き、世に慶首座と稱す。〔遠流茶道家・小堀正之の號。〕

〔宗教〕¹²⁰ 拜信仰して祭祀を行ひ、それによつて慰藉安